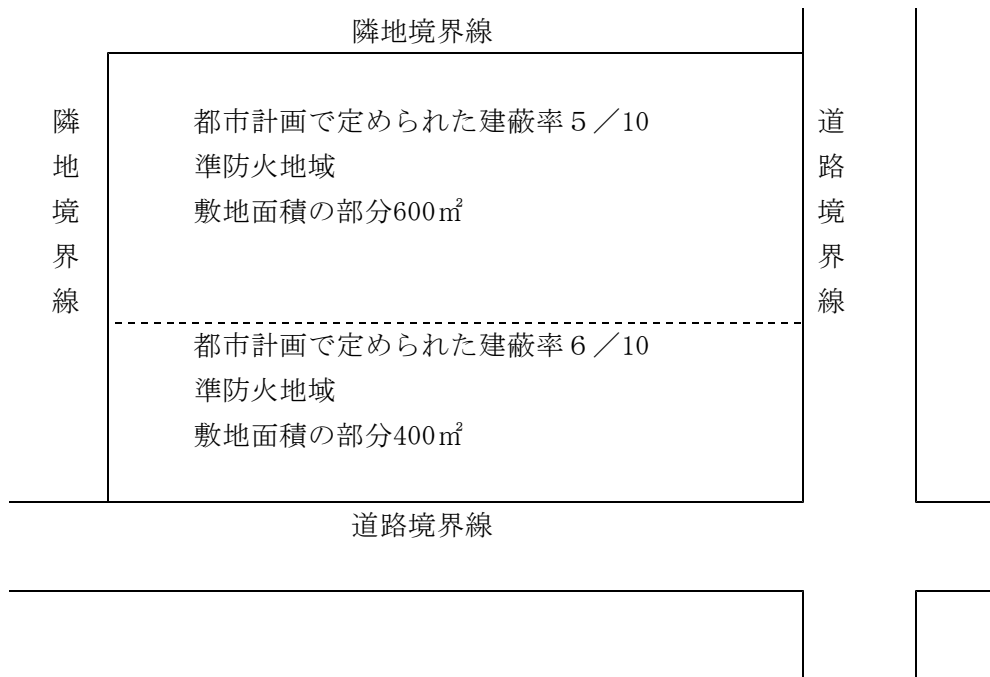


## 建築C

〔例題1〕 敷地全体が準防火地域に指定されており、特定行政庁から街区の角にある敷地として指定されている敷地面積1,000㎡の敷地で、この敷地の都市計画で定められた建蔽率の限度が5/10である部分と、6/10である部分がそれぞれ600㎡と400㎡である場合について、この敷地に建築できる耐火構造の共同住宅の建築面積の限度とその根拠となる算定式を述べなさい。

なお、建蔽率に関する特定行政庁の許可は考慮しないこととする。



## 建築C

〔例題2〕 鋼材の応力度—ひずみ度曲線における「弾性域」及び「塑性域」について、それぞれの特徴を述べなさい。